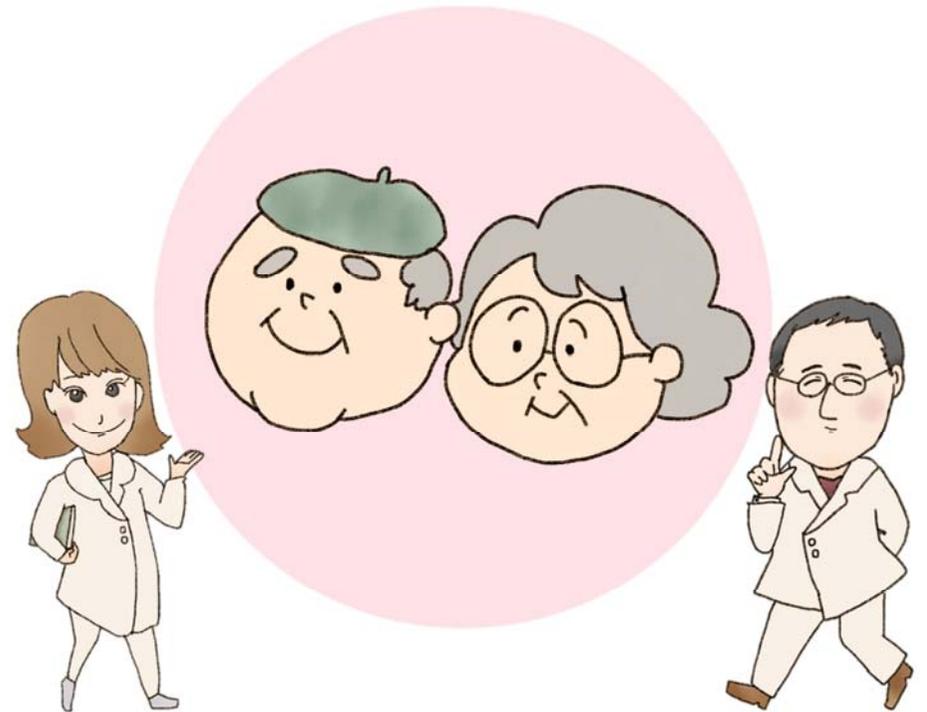


肺炎球菌ワクチン を受けられる方へ

～安心してワクチン接種をしていただくために～



監修 長野県立信州医療センター 院長補佐
感染症センター長

山崎善隆

作成 薬剤科 杉山美樹・三澤貴美
イラスト Kadoo

肺炎球菌ワクチン

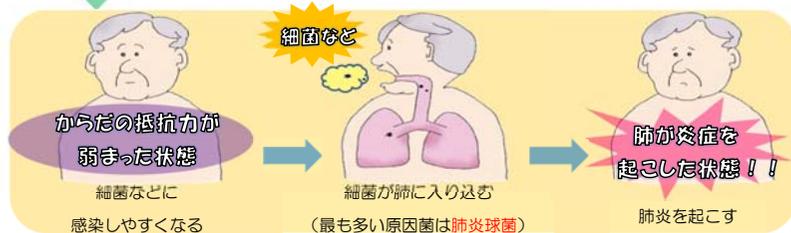
肺炎ってどのような病気？

細菌やウイルスなどが、からだに入り込んで起こる肺の炎症です。

症状として発熱、咳や痰、息苦しさや胸の痛みなどがあります。

からだの抵抗力(免疫力)が弱まったときに感染を起こしやすいです。

からだの抵抗力(免疫力)が弱まる



肺炎は日本人の死因の

第3位¹⁾



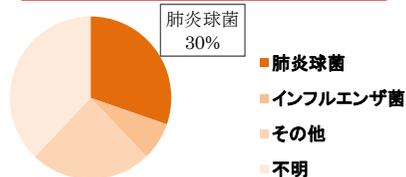
肺炎による死亡者の

約95%は65歳以上¹⁾



96.9%

肺炎の原因微生物



65歳以上の市中肺炎の原因菌の中で、

最も多いのは「肺炎球菌」！！

どうすれば予防できるの？

毎日の感染予防 からだの免疫力を高める 予防接種を受ける



肺炎球菌ワクチンが推奨される方

- ・肺炎で入院あるいは肺炎の既往のある方
- ・呼吸器疾患： COPD、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌など
- ・循環器疾患： 心房細動、弁膜症、虚血性心疾患など
- ・脳血管疾患： 脳梗塞・脳出血後遺症、嚥下困難など
- ・糖尿病、大腿骨頸部骨折・脊椎圧迫骨折など
- ・ステロイドなど免疫抑制剤を服用されている方、脾臓を摘出した方
- ・老人施設や長期療養施設などに入所されている方 など

ワクチンについて教えて!

平成 26 年 10 月より高齢者の肺炎球菌感染症の

定期接種への取り組みが開始されました。

肺炎球菌ワクチンには2種類あります。

	ニューモバックスNP	プレベナー13
含まれる抗原	23 種類	13 種類
抗体作らせる能力	低い	高い
効果の持続	短い	長い
再接種の必要性	5年ごと	不要
補助の有無	対象年齢で有	無

細菌やウイルスに感染すると、

その病原体に対する抵抗力が体内に生まれます。



この原理を応用したのがワクチンによる予防接種です。



2剤の併用により強い免疫獲得効果が期待できます

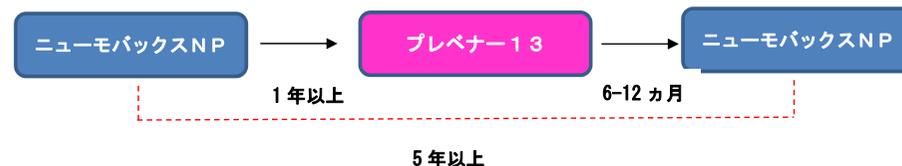
～日本呼吸器学会、日本感染症学会 合同委員会～

65 歳以上に対する肺炎球菌ワクチン接種の考え方

- ・ 65 歳以上で肺炎球菌ワクチン接種歴がない場合



- ・ 65 歳以降にニューモバックス接種歴がある場合



肺炎球菌ワクチンの注意点

- 過去に肺炎球菌ワクチンを接種したことがある方は、
前回接種した時期を必ずお知らせください。
- 肺炎球菌ワクチンの接種後に、接種部位の症状(痛み、赤み、腫れなど)、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などが現れることがあります。
気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐにご相談ください。
- 接種後にワクチン手帳をお渡しします。
なくさないように大切に保管してください。

2016/9 作成 2017/12 改定